

令和5年度 丹波市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員

3名（各圏域地域包括支援センター）

2名（基幹型地域包括支援センター）

2 認知症地域支援推進員の役割

- ・普及啓発 ・定期相談（認知症疾患医療センターとの連携）
- ・認知症介護者支援（認知症疾患医療センターとの連携）
- ・認知症初期集中支援事業の実施
- ・認知症カフェ開催（後方支援）
- ・認知症疾患医療センターと包括との連絡会
- ・認知症ガイドブック印刷・配布
（医師会、歯科医師会、薬剤師会、民生委員協議会、介護サービス事業所など）
- ・キャラバンメイト連絡会開催・企画・運営
- ・認知症サポーター養成講座実施
- ・世界アルツハイマーデー・月間普及活動
- ・認知症サポーター養成講座修了者の集まり「おれんじの輪」の開催

報告者氏名:西部地域包括支援センター：中村奈央美

南部地域包括支援センター：山本悠子

東部地域包括支援センター：大久保真理

介護保険課：荻野幸紀・足立悟

【丹波市】 認知症施策全体図

- 丹波市の認知症施策の体系図

(丹波市第8期介護保険事業計画より)



標題：普及啓発・本人発信支援の取組み

本人発信を大切にしながら 誰でもゆるっと集える認カフェづくり

- ★認カフェが立ち上がっていない東部圏域で認カフェを立ち上げたい！
- ★市の施策を推進！当事者と一緒に楽しめる、わくわくできる場所をつくろう！

1年をかけて立ち上げ準備活動開始！

まずは関係者で集まって「どんなカフェにしよう？」と相談

↓
ご本人や家族が楽しめるカフェにしよう！



楽しめるメニューを地域の
人と一緒につくろう

認知症の本を
置いたらどう？

音楽や歌があると
なごむなあ・・・

市の担当者

包括職員

自分で作った作品とか
展示して貰えたら良いな

チームオレンジ（住民）

推進員

アロマの香りが
いいらしいで！

認カフェの先輩、アドバイザー



第1回目開催の様子



定着・継続をめざして1年間毎月開催



看護学生さんも参加



郷土の歌と三味線で盆踊り



玉入れやスカットボールも楽しみました



季節を取り入れたメニュー



参加者さんがオカリナ演奏会



新年には地域の劇団がダンスを披露
レイを付けて一緒に踊りました

地域の皆さんと一緒に手づくり



当事者さんが手品を披露



相談コーナーも設置

市で作成した認知症啓発
DVDを鑑賞



クリスマスケーキに舌鼓



テーブルを囲んでゲーム

当事者の方が中心となって開催できました！

大切にしたこと



ご本人も一緒に地域みんなが集える場所
だれでもゆるっと 認知症の話ができる場所
無理せず のんびり 楽しく
・ ・ ・でも カフェの目的は忘れずに!



仲間と一緒に

チームオレンジの方

地域の方々

(友人知人、ボランティア)

ケアマネさん

民生委員さん 社協職員さん

啓発活動で協賛された市民の方

などなど・・・



◆当事者が得意なことを披露

◆地域の友人が送迎して下さる

◆担当CMも一緒に参加

◆診断直後の人へ参加の声掛け

◆家族同士でつながる

◆啓発活動から市民がサポート参加

◆参加者が認知症の漫画を提供下さる

◆地域のボランティアグループが公演参加

◆カフェ看板やお菓子の入れ物は地域の方の手作り



キャラバンメイトと 共に行った活動

商業施設での啓発活動

みんなで
認知症を
知ろう！ワークショップ開催

みんなで！
1人でできる！

アルツハイマー月間

日時:令和5年9月23日(土)
13時~15時
場所:ゆめタウン2階
市民プラザ
主催:丹波市キャラバン
メイト連合会

専門職による相談
(認知症のこと・介護保険のこと)
認知症カフェ紹介
(ワークショップ体験できます)
簡易チェックシート
(体験できます)

どんな街に
なれはいい？
みんなの意見を
聞かせて！

認知症啓発DVD上映
オレンジねっとカフェ
による脳活ゲームなど
①13:00~
②14:00~
③14:30~

ロバ隊長

市民プラザでの
ワークショップ

丹波市:認知症サ
ロバ隊長は「認知症サポ



図書館での啓発ブース設置



• 最後に・・・

これからも認知症当事者の声を大切に聞かせて頂き、本人が活躍できる場を作っていきます。

また、その活躍される姿を地域の方々にも見て頂き、認知症になっても生き生きと生活を送ることができるということを知ってもらいたいです。

「認知症になることは、誰にでも起こりうることなんです。」

「認知症になっても、周りの人や地域のサポートがあれば、住み慣れた地域で長く生活を送ることができるんです。」

「認知症になったら何もできないわけではないんです。」

簡単な言葉で市民の方に、認知症について知ってもらえるようにこれからも周知啓発活動を行っていきます。